

# 加古川市文化振興ビジョン

加 古 川 市



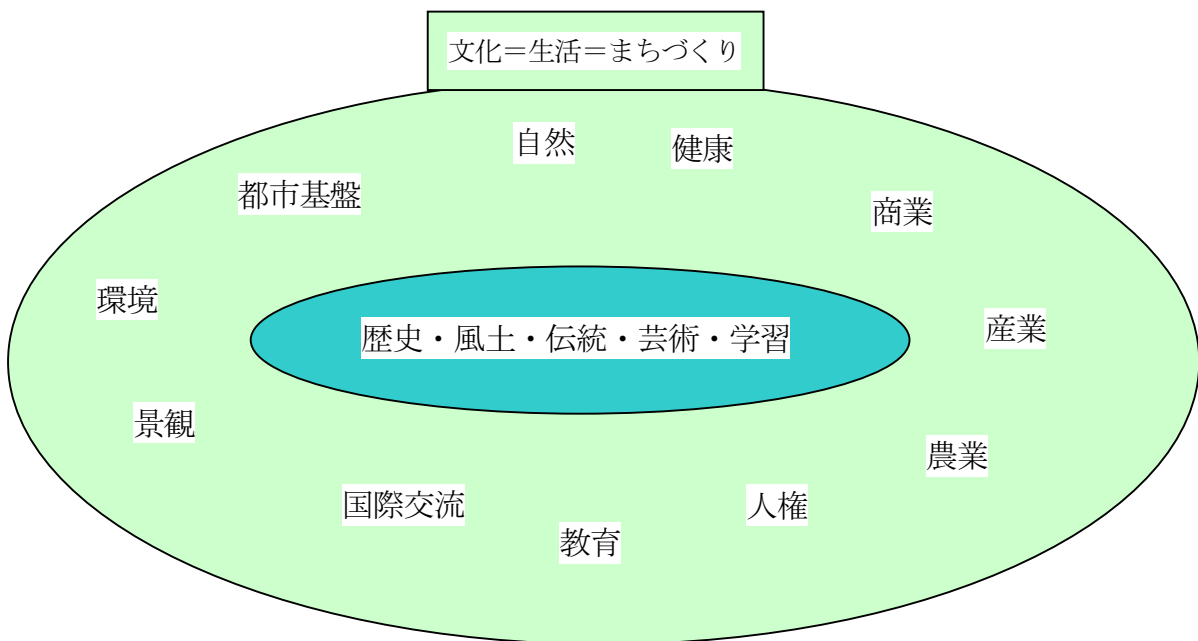
## 文化振興ビジョンの位置づけ

継続的に取り組むべき本市の文化振興の道標と位置づけます。その取り組みについては、総合基本計画の見直しに合わせて、5年毎に検証を行います。

## 文化振興ビジョンで捉える対象

文化とは、人間が自然とのかかわりや風土の中で生まれ、育ち、身につけていく、暮らしや生活様式、価値観など、人間と人間の生活にかかわることのすべてを意味し、広くは「まちづくり」そのものであると言えます。

しかしながら、このビジョンで捉える対象は、歴史、風土、伝統、芸術、学習などを中心に考えます。



## 基本目標・基本方針

### 1. 文化振興ビジョンの基本目標

このビジョンが目指すところは、「文化創造の主役は市民である」ことを基本とし、市民一人ひとりが、文化の視点を大切にしながら活動に取り組み、「心の豊かさ」を実感できる地域社会を実現することです。

そのためには、市民が歴史・風土・伝統・芸術・学習<sup>ひろ</sup>に対する関心を高め、主体的に文化的な活動に取り組む中で、交流・共有の輪を拡げ、生活にうるおいや豊かさをもたらす必要があります。

そこで、市民一人ひとりの多様な個性があふれる文化的な営みが尊重され、暮らすことのできる地域社会を築くため、このビジョンの基本目標を「一人ひとりの個性が輝く、加古川市民文化の創造」とします。

### 2. 文化振興ビジョンの基本方針

この基本目標を達成するための取り組みについては、「文化」の視点を活か<sup>い</sup>した魅力あるまちづくりに結びつけるため、有形・無形のさまざまな資源や営みを「まもる」・「いかす」・「つくる」の3つの分野に大別し、さらに、それらを「つなぐ」ことをキーワードとし、次の4つの基本方針を設定することとします。

#### (1) みんなで「まもる」文化のまちづくり

先人たちの営みの蓄積から生まれ、発展し、継承されてきた自然や風土、歴史、文化財、伝統行事などの豊かな文化資源は、まちの軌跡を示すとともに、人びとの情感の形成や郷土への愛着心<sup>はぐく</sup>を育み、文化振興の土壌となります。

そのためには、地域で育まれた文化資源の保存と継承活動の促進や、地域文化にふれあう機会の創出に取り組みます。

また、蓄積されてきた文化資源情報の掘り起こしや収集とともに、それらを再認識・再評価する仕組みづくりに取り組みます。

#### (2) みんなで「いかす」文化のまちづくり

文化振興は、市民一人ひとりの活動によるところが大きいことから、個人の「文化力」がまちの文化レベルを決定する要因となります。そのため、市民一人ひとりが、文化・芸術活動を通じて、自己発見と自己実現に努めるとともに、まち全体をより活性化させ

る意識をもった「文化力」の高い市民を育むことが重要です。

また、市民の自発的な活動を支える地域住民の意識が、市民文化を深く耕し、発展・向上させる基盤となります。

そのためには、良質の文化・芸術に直接触れる機会の拡充を図るとともに、市民の自発的な文化・芸術活動の取り組みを促進します。

また、文化・芸術活動を担う人材や活動を支援する人材等の確保に取り組むとともに、文化情報の発信や文化・芸術活動の支援体制の充実に取り組みます。

### （３）みんなで「つくる」文化のまちづくり

市民の豊かな個性や感性はさまざまな人々との交流により、一層輝きを増し、新しい発見と創造に結びつきます。

また、これまで培われてきた文化は、より優れた芸術や流行など時代が生み出す文化と積極的に接することにより、さらに向上し、新しい市民文化を根付かせることとなります。

そのためには、文化のまち加古川のアイデンティティを高める運動を展開するとともに、活動の拠点や核となる施設や空間の整備に取り組めます。

また、市民のニーズに的確に対応する文化施設の整備と活用に取り組めます。

### （４）みんなで「つなぐ」文化のまちづくり

これまで述べてきた、有形・無形の文化資源を「まもる」、そして、主体的な市民活動や人材などを「いかす」、さらに文化創造の拠点などを「つくる」の３つの視点だけでは、基本目標である「一人ひとりの個性が輝く、加古川市民文化の創造」を達成することはできません。

そこで、点在するすべての資源を、点から線へ、さらには面にし、地域文化の広がりや深さをもたせるため、「まもる」「いかす」「つくる」の有機的な連携が必要となってきます。

そのためには、地域コミュニティをより高めるとともに、文化活動を通じ、個人や世代間、地域間、都市間、国際間の多様な交流の促進とネットワーク化に取り組めます。

# 基本方針を推進するための基本施策

## 1. みんなで「まもる」文化のまちづくりの推進

みんなで「まもる」文化のまちづくりの推進については、「文化資源の保存と継承」、「地域文化にふれあう機会の創出」、「文化資源情報の掘り起こしと収集」の3つの基本施策を設定します。

### (1) 文化資源の保存と継承

地域で育<sup>はぐく</sup>まれた文化資源の保存や継承のためには、市民一人ひとりの理解と協力のもと、地域やまち全体での価値観の共有が不可欠です。

そのためには、日常生活において、これらを身近な共有財産とする意識を高めるとともに、自然・風土や文化財などへの地域住民の主体的な保全・継承活動の促進に取り組めます。

また、地域の文化に対する愛着心を育むことや、地域の特色を活かした都市空間や生活空間をつくることが重要です。

そのためには、地域の文化財や歴史をはじめ、自然や風土といった文化資源を活かした事業の展開や継承活動に対する支援に取り組めます。

### (2) 地域文化にふれあう機会の創出

地域文化に関心や理解を深め、尊重し、継承する心を育てるためには、日常の生活や学習の場において、地域で培われた習慣や伝統芸能・行事に身近に触れることが重要です。

そのためには、多様な地域文化にふれる機会を創出する鑑賞事業を展開するとともに、幼児期から地域や学校で地域文化を学べる環境整備に取り組めます。

### (3) 文化資源情報の掘り起こしと収集

古墳や社寺をはじめ、地域に伝えられる歴史的な文化資源や清流加古川を中心とした豊かな自然が育<sup>はぐく</sup>んだ地域の風土を見つめ直し、市民の財産として活かすことが重要です。

また、市内に点在している優れた人材や収蔵品などの一つひとつの文化ストックをまち全体で共有することも重要です。

そのためには、市民の有形・無形文化財産の蓄積に対する認識を高めるなど、埋没している素材を掘り起こすとともに、さまざまな情報を収集し、情報をだれもが共有できるよう整理・分析を行い、郷土の誇りにつながる取り組みを進めます。

## 2. みんなで「いかす」文化のまちづくりの推進

みんなで「いかす」文化のまちづくりの推進については、「文化・芸術に接する機会の拡充」、「文化の担い手づくり」、「市民の自発的な文化・芸術活動の促進」、「文化・芸術活動の支援体制の充実」、「総合的な情報発信」、「表彰・顕彰制度の充実」の6つの基本施策を設定します。

### (1) 文化・芸術に接する機会の拡充

文化・芸術を日常生活に取り込んでいくためには、さまざまな分野・部門の文化・芸術に触れ、市民一人ひとりの感性や教養を高めることが重要です。

そのためには、各文化施設がその特色や専門性を活かした事業に取り組むとともに、鑑賞しやすい環境づくりを進めます。

また、文化・芸術への理解を一層深めるためには、幼児期から良質な文化・芸術に接することが大切です。

そのためには、地域や学校など多様な場所で、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会の充実に努めます。

### (2) 文化の担い手づくり（人材育成）

文化・芸術活動を発展させるためには、それぞれの活動を継承する担い手が育ち、活動が活発になることが重要です。

そのためには、文化・芸術活動を担う人材の発掘・育成とその活動を支える仕組みづくりに努めます。

### (3) 市民の自発的な文化・芸術活動の促進

市民文化をより一層成熟させ、優れた文化を創出するためには、文化の担い手である市民の活発な活動が不可欠となります。

そのためには、市民の自発的な文化・芸術活動を促進するとともに、その環境整備に取り組めます。

また、幼児期からさまざまな文化・芸術を学び体験できる環境づくりにも取り組めます。

### (4) 文化・芸術活動の支援体制の充実

文化・芸術活動を活発にし、発展させるためには、まち全体で、文化・芸術活動に対する意識を高め、さまざまな支援ができる環境を整備することが重要です。

そのためには、助成制度などに関する情報の提供に努めるとともに、企業が文化・芸術活動に参画できる仕組みづくりに取り組みます。

また、文化・芸術活動を市民共有のものとするための意識の高揚に努めます。

#### (5) 総合的な情報発信

より多くの市民が文化・芸術活動に接する機会を得るためには、タイムリーな情報を入手できる環境の整備が重要です。

そのためには、多様なメディアを有効に活用した情報発信体制の充実に取り組みます。

#### (6) 表彰・顕彰制度の充実

文化・芸術活動を継続し、活発化するためには、成果や功績をたたえ、広く市民が誇りに思う心を<sup>はぐく</sup>むことが大切です。

そのためには、努力の成果を表彰・顕彰する環境の整備に取り組みます。

### 3. みんなで「つくる」文化のまちづくりの推進

みんなで「つくる」文化のまちづくりの推進については、「個性豊かな文化の創造」、「活動の拠点・核づくり」、「文化施設の整備と活用」の3つの基本施策を設定します。

#### (1) 個性豊かな文化の創造

心の豊かさを実感でき、誇りに思えるまちを築くためには、市民一人ひとりの感性や個性が輝き、まちの文化度を高めることが重要です。

そのためには、さまざまな文化・芸術を<sup>はぐく</sup>む環境づくりとまちのアイデンティティを高める運動に取り組みます。

#### (2) 活動の拠点・核づくり

文化のかおり高いまちづくりを進めるためには、日常的にさまざまな場所で、文化・芸術活動ができる環境を<sup>つく</sup>り出すことが重要です。

そのためには、各種の施設や空間の有効活用を促進します。

#### (3) 文化施設の整備と活用

市民の文化意識はますます多様化してきており、時代の流れや市民ニーズに即した文

化施設の運営や文化情報の効果的な発信が求められています。

そのためには、市民の視点に立った、施設の利便性の向上や情報発信システムの整備に取り組むとともに、市民に支えられた施設の運営に努めます。

#### 4. みんなで「つなぐ」文化のまちづくりの推進

みんなで「つなぐ」文化のまちづくりの推進については、「ヒューマン（人）をつなぐ」、「ソフトをつなぐ」、「ハードをつなぐ」の3つの基本施策を設定します。

##### （1）「ヒューマン（人）」をつなぐ

文化活動の担い手である人や団体をつなぐためには、市民一人ひとりがお互いの個性や価値観を尊重し、文化のまちづくりに参画する意識を高めることが重要です。

そのためには、個人や団体間の交流機会の創出と活性化、さらには自主的なネットワークづくりを促進します。

##### （2）「ソフト」をつなぐ

各種の文化事業や情報などをつなぐためには、さまざまな活動が、分野を超えて結びつき、共存共栄する環境をつくることが重要です。

そのためには、分野を超えた交流を促進するとともに、新しい文化活動に向けた情報提供や支援に取り組みます。

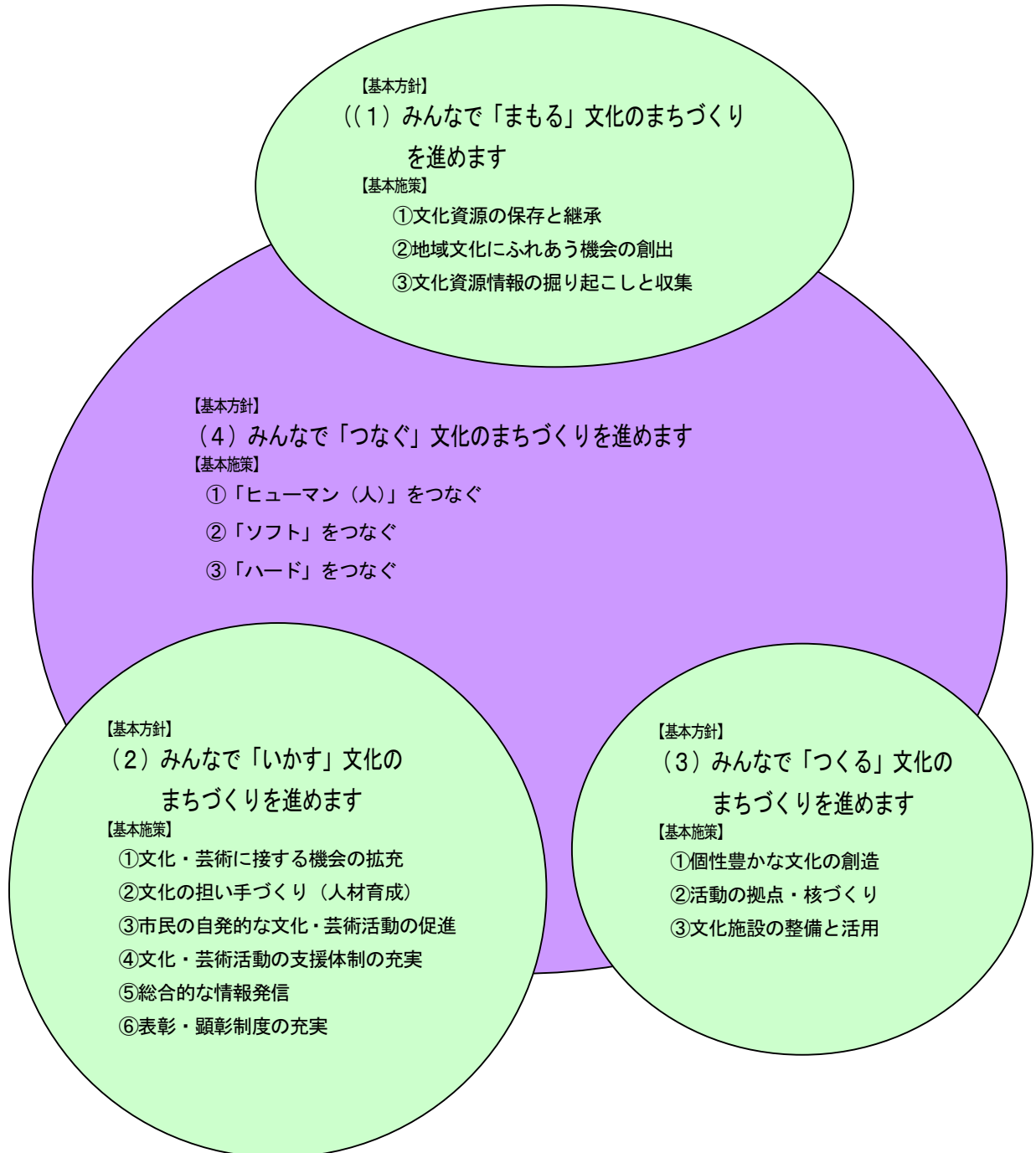
##### （3）「ハード」をつなぐ

各種の施設等をつなぐためには、それぞれの施設がその役割と特色を発揮し、市民文化の向上を目指した取り組みを進めることが重要です。

そのためには、利用者の視点に立った施設間の有機的な連携による事業の展開に取り組めます。

## 基本目標

一人ひとりの個性が輝く、加古川市民文化の創造



## 加古川市文化振興ビジョン

平成28年3月改訂

加古川市 地域振興部 ウェルネス推進課